

スクラム

ひがしいくのちゅうがっこうこうちょうしつ
東生野中学校校長室だより 第11号令和7年8月7日

せんごねん 戦後80年

ことし だいにじせかいたいせん しゅうけつ ねん ふしめ とし わたし いま へいわ
今年は第二次世界大戦の終結から80年の節目の年です。私たちは今の平和
つづ しめい がつむいか ひろしま ここのか ながさき げんしばくだん とうか
を続けていく使命があります。8月6日は広島に、9日は長崎に原子爆弾が投下さ
れ多くの人が犠牲になりました。そして15日には終戦を迎えます。夏休みを平和
かんがえ きかい
について考える機会にしてください。

いま ねんまえ ならけんてんかわむら どろがわ おおみねさん ちゅうぶく せんとうき
今から80年前、奈良県天川村の洞川にある大峰山の中腹にアメリカの戦闘機
B29 が墜落し、その知らせは瞬く間に村中を駆け巡りました。それからほどなく
して村の駐在所の前に人だかりができています。何事かと見に行くとアメリカ兵
2名が悲しげな眼でぐったりと座っています。その腰にはロープがくくられていて
集まつた村人も声を出すこともなく悲しげな眼でアメリカ兵を見つめていました。
そんな静かな時間が数分過ぎた次の瞬間、「たたかしてくれ、たたかってくれ。」と
ひとりじよせい な おお ぼう あゆ で わたし むすこ せんし
一人の女性が泣きながら大きな棒をもって歩み出ました。「私の息子は戦死した
んや。アメリカに殺された。たたかしてくれ。」そしてその棒をアメリカ兵に向けて
ふ あ しゅんかん ぼう ば な くず
振り上げたその瞬間……「うわ——」と声を上げその場に泣き崩れました。「アメ
リカ兵をたたいても息子は戻って来ないんやー」その場にいた人たちも泣いてい
ました。そして、その女性の背中をさすってあげることしかできなかつたのです。

おさな 幼いころ、おばあちゃんから聞いた話です。おばあちゃんはおじいちゃんを
せんそう と どろがわ そかい はなし こ せんじゅう かな
戦争に取られ、洞川に疎開していました。この話の後に「まさあき、戦時中の悲し
い話やで。棒でたたこうとした人はきっと戦争が憎いって叫びたかったんやろ
な。私もそう思つたし、みんなもそう思つてた。でもそれを言えない時代やつたん
や。戦争は絶対にあかん。あんたらがこの平和を続けていかなあかん。誰かが平和
にしてくれるんとちゃうねん。自分で平和な世の中を作つていかなあかん。」
そして、おばあちゃんの口癖は「もつたいない。」でした。「戦時中はお米なんか手に
はい くちぐせ せんじゅう て
入らへん、みんなお腹すかしてた。しんどかったな。」とごはんを残すことは許して
くれませんでした。

わたし いま なに せんそう へいわ かんが
私たちが今、何をしなければならないのか。戦争や平和について考えてみてく
ださい。

うらめん ひやくにんいつしゅ した けいさい
裏面に「百人一首に親しもう」を掲載しています。

百人一首に親しもう

そせいはうし
素性法師

いまこむと いひしばかりに 長月の

つき ま
ありあけの月を 待ちいでつるかな

いま い さまで
今すぐに行こうと、あなた様が言ったばかりに、その言葉をあてにして待ち続けてい
ましたか、あなたは来ず、この九月の長い夜の有明の月が出るまで待ち通してしま
いましたよ。

ふんやのやすひで
文屋康秀

ふ あき くさき お
吹くからに 秋の草木の しをるれば

やまかぜ あらし う ん
むべ山風を 嵐といふらむ

かぜ やま ふ お
つめたい風が山から吹き下ろすと、たちまち秋の草木がしおれてしまうの
で、なるほど山から吹く風を嵐というのであろう。

がんば
頑張りました

たいそうぶ おおさかせんしゅけん
体操部 大阪選手権

だんし
男子

だんたいそうごう
団体総合

い
2位

こじんそうごう
個人総合

い
3位

しゃもくべつ ゆか
種目別(床)

い
3位

じょし
女子

こじんそうごう
個人総合

い
2位

しゃもくべつ
種目別

い
2位

おめでとう

校長 角田眞章